

## 試験研究成果普及情報

部門	麦及び雑穀	対象	普及
課題名：小麦新品種「さとのそら」の栽培法			
〔要約〕小麦新品種「さとのそら」の播種適期は11月上旬であり、播種が遅くなるほど収量及び外観品質が低下する。転換畑における窒素施用量は基肥8kg/10a、追肥で4kg/10aであり、追肥は茎立期約10日前（11月上旬播種の場合3月上旬）に施用する。			
キーワード <sup>①</sup> 小麦、さとのそら、栽培法、播種時期、肥培管理			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター・生産技術部・水田作研究室 協力機関 農林総合研究センター・育種研究所・畑作物育種研究室 農林総合研究センター・北総園芸研究所・畑作園芸研究室		
実施期間	2011年度～2013年度		

### 〔目的及び背景〕

これまで、本県の小麦主要品種であった「農林61号」は、熟期が遅い、倒伏しやすい、コムギ縞萎縮病に弱い等の欠点があった。このため、これらの欠点を改善した群馬県育成の新品種「さとのそら」を、平成23年度に奨励品種として採用した。

千葉県における小麦栽培は排水性の良い転換畑での作付けが中心であり、黒ボク畑での栽培を主とする北関東と栽培条件や気象条件に大きな違いがある。そこで、本試験では、本県において高品質・安定生産が可能な「さとのそら」の播種時期、肥培管理について明らかにする。

### 〔成果内容〕

- 1 播種適期は11月上旬である（図1）。
- 2 播種が播種適期より遅くなるほど、収量及び外観品質が低下する（図1）。
- 3 基肥窒素施用量を8kg/10aと12kg/10aとした場合、収量及び品質に差は認められない（図2）。
- 4 追肥窒素の施用時期は、茎立期約10日前（11月上旬播種の場合3月上旬）で収量及び外観品質が安定する（図3）。
- 5 転換畑における追肥窒素施用量は4kg/10aで収量及び外観品質が安定する（図4）。
- 6 「農林61号」より茎立期は0～7日、出穂期は0～6日、成熟期は1～4日程度早い（表1）。

### 〔留意事項〕

- 1 追肥時期は、茎立期10日前の判定が困難なため、幼穂形成が確認できた時点（播種が11月上旬であれば3月上旬）で施用する。
- 2 追肥窒素施用量4kg/10aは、「農林61号」の倍にあたるが、短稈であるため、

倒伏のリスクは少ない。

- 3 生育後半の窒素吸収が、収量に大きな影響を及ぼすため、地力に応じた肥培管理が必要である。

[普及対象地域]

県内全域

[行政上の措置]

[普及状況]

「さとのそら」は、平成 25 年播で 612ha 栽培されている（生産振興課調べ）。なお、平成 25 年播における県内の小麦栽培面積は 706ha である。

[成果の概要]

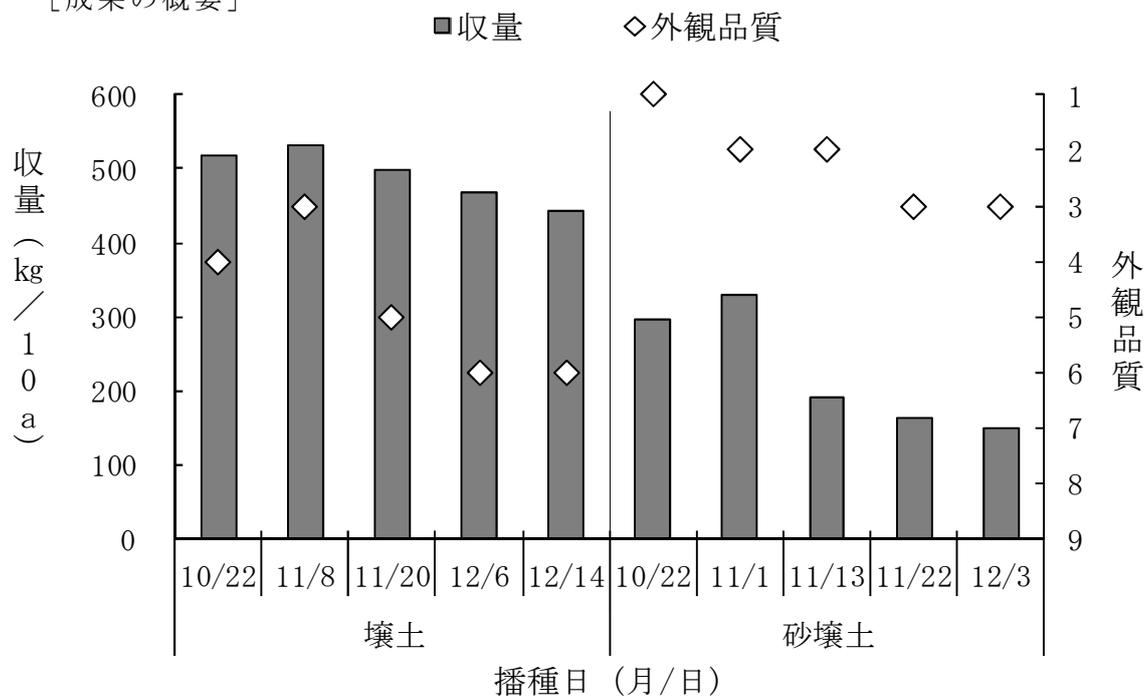


図 1 播種時期別の収量及び外観品質（平成 24 年播）

注 1) 外観品質は 1（上上）～ 9（下下）の 9 段階評価

2) 施肥窒素量は転換畑では基肥 8 kg/10a、追肥 4 kg/10a、畑では基肥 8 kg/10a、追肥 2.5kg/10a

3) 壤土は千葉市（転換畑）、砂壤土は長生村（畑）にて試験

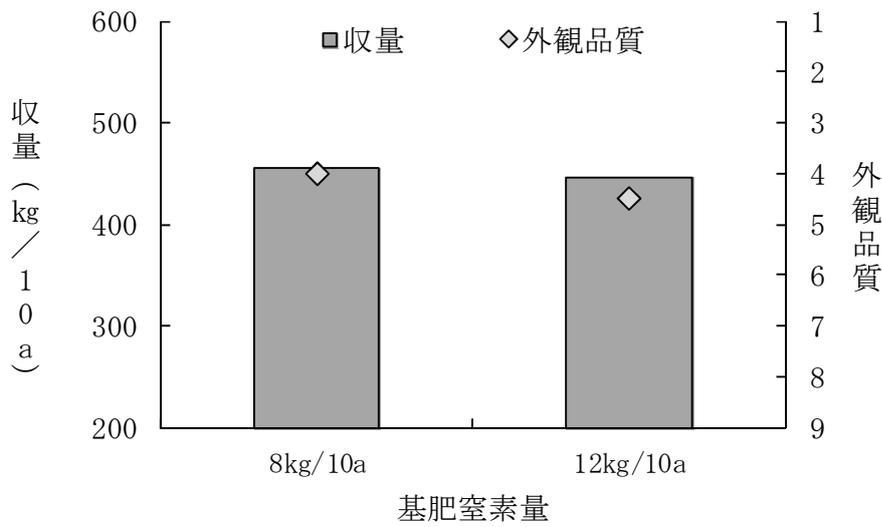


図2 転換畑における基肥窒素量別の収量及び外観品質（平成23年播）

- 注1) 外観品質は1(上上)～9(下下)の9段階評価  
 2) 播種日は11月9日、追肥窒素量は4kg/10a  
 3) 千葉県(壤土)にて試験

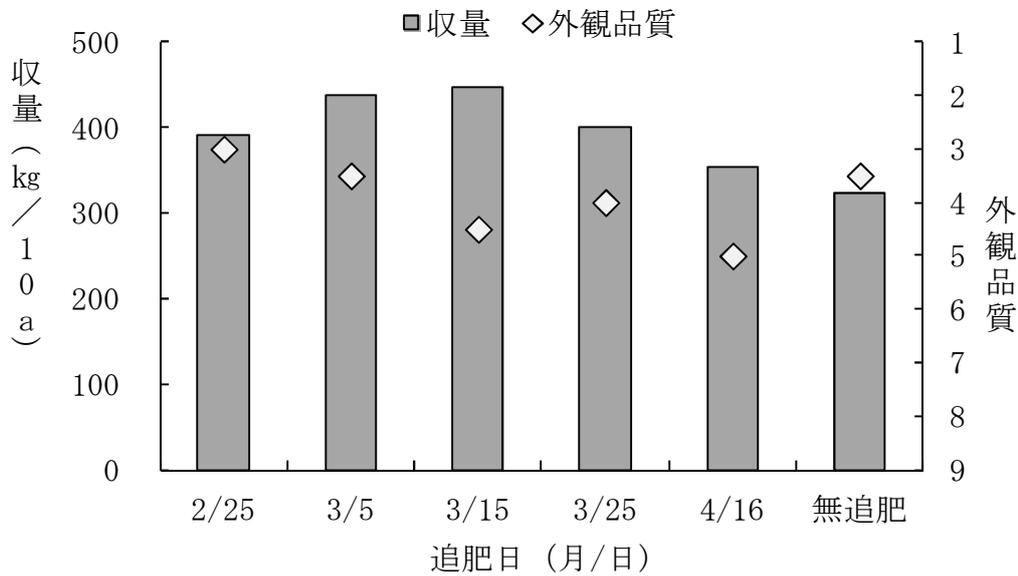


図3 転換畑における追肥時期別の収量及び外観品質（平成24年播）

- 注1) 外観品質は1(上上)～9(下下)の9段階評価  
 2) 播種日は、11月12日  
 3) 基肥窒素量は8kg/10a、追肥窒素量は4kg/10a  
 4) 茎立期は、3月14日  
 5) 千葉県(壤土)にて試験

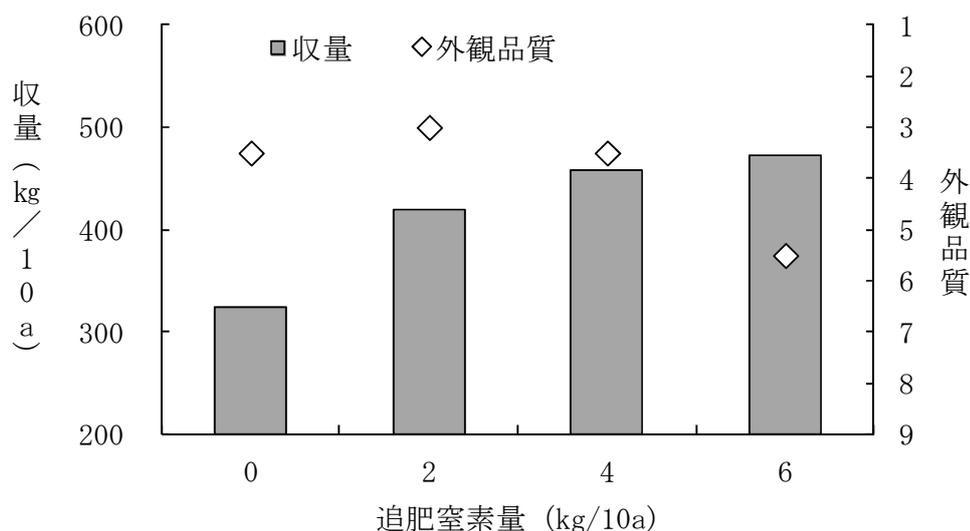


図4 転換畑における追肥窒素量別の収量及び外観品質（平成24年播）

注1) 外観品質は1(上上)~9(下下)の9段階評価

2) 播種日は11月12日、基肥窒素量は8kg/10a、追肥は3月5日(茎立期9日前)に施用

3) 千葉市(壤土)にて試験

表1 転換畑における「さとのそら」及び「農林61号」の生育期(平成24年播)

播種日 (月/日)	出芽日(月/日)		茎立期(月/日)		出穂期(月/日)		成熟期(月/日)	
	さとのそら	農林61号	さとのそら	農林61号	さとのそら	農林61号	さとのそら	農林61号
10/22	10/27	10/27	2/25	2/19	4/5	4/5	5/23	5/26
11/8	11/18	11/18	3/13	3/13	4/13	4/15	5/30	6/3
11/20	12/5	12/5	3/15	3/19	4/16	4/19	6/4	6/8
12/6	1/4	1/4	3/22	3/29	4/19	4/25	6/7	6/10
12/14	1/11	1/11	3/29	4/2	4/22	4/27	6/10	6/11

注) 千葉市(壤土)にて試験

[発表及び関連文献]

- 1 小麦「さとのそら」の栽培方法(千葉県農林水産技術会議技術指導資料、平成25年度)
- 2 千葉県における播種時期の違いが小麦品種「さとのそら」の収量及び品質に及ぼす影響(日本作物学会関東支部第103回講演会、平成25年12月)
- 3 平成24年度試験研究成果発表会(作物部門)
- 4 平成25年度試験研究成果発表会(作物部門)
- 5 平成26年度試験研究成果発表会(作物部門)
- 6 小麦「さとのそら」の品種特性と栽培方法(千葉県農林水産技術会議技術指導資料、平成26年度)

[その他]

平成23年度試験研究要望課題(提起機関:生産販売振興課、東葛飾農林振興センター)